

平成20年6月市議会定例会 一般質問
質問する議員名及び質問内容

◎ 個人質問

1 議員 近藤 信行

(1) 財政問題について

① 財政運営

- ・ 新型交付税による基準財政需要額算定方法の変更に対応した今後の対策を示せ
- ・ 平成19年度決算見込みによる実質赤字比率、実質公債費比率、連結実質赤字比率、及び将来負担比率の概略数値を示せ
- ・ 概略数値に対する見解と今後の取り組みを示せ
- ・ 道路特定財源の一般財源化による今後の道路行政と予算配分に与える影響を示せ
- ・ 手数料収入として将来的にゴミ処理手数料を設定する考えはないか

(2) 教育行政について

① 耐震化対策

- ・ 国の耐震化促進としての地震防災対策特別措置法改正への認識と見解を示せ
- ・ 小中学校施設耐震化推進基本方針の見直しへの考えを示せ

② アレルギー対策

- ・ 小中学校におけるアレルギーの有病率と現時点での対応を示せ
- ・ 学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドラインへの認識と今後の学校現場での取り組み内容を示せ

(3) 地域振興について

① 地域振興対策

- ・ まちづくり寄附条例を制定すべきと考えるが、それに対する認識と導入に対しての見解を示せ

2 議員 伊東 くに

(1) 医療と福祉の充実について

① 後期高齢者医療制度創設による市民生活への影響

- ・ 保険料の年金からの天引きによって本市にもたらされる実質的な効果について示せ
- ・ 後期高齢者のうち、年収100万円以下で特別徴収（天引き）被保険者が健康で文化的な生活ができるのか。その確認や相談はどのように行っているのか示せ
- ・ 10月から始まる普通徴収についても相談体制について考

え方を示せ

- ② 後期高齢者医療制度の実施に伴う各医療保険への影響
 - ・ 老人保健制度の廃止によって国民健康保険及び各医療保険会計ほどの程度の負担増及び負担軽減があるのか示せ
 - ・ 国民健康保険から75歳以上の高齢者が後期高齢者医療制度に移行したことにより収納率の悪化や国民健康保険税の値上げの要因にならないか、認識を示せ
- ③ 特定健康診査
 - ・ これまで自治体が行ってきた健康診査を40歳から74歳までに限定した特定健康診査に改編したことにより、現役世代の保険料負担増につながらないか。今後の見通しについて示せ
 - ・ 75歳以上の健康診査について努力義務になるが、自己負担のために実施率が下がり、悪化による医療費の増加が心配されるがどうか
- ④ 療養病床の確保
 - ・ 国が進める療養病床削減の政策により、各病院において退院指導が進められている。入院を必要とする高齢者の病床は確保されるのか。市の認識を示せ
- ⑤ 生活保護の移送費
 - ・ 生活保護における通院交通費の原則廃止が国により示されているが、必要な医療が受けられず、病状が悪化することが心配される。本市における移送費支給についての考え方を示せ

3 議員 成田芳雄

- (1) 通称青木山周辺の活用について
 - ・ 長期総合計画により「いにしえと夢の森」事業へ位置づけすべきでないか
 - ・ 登山道の枝払いや草刈り、道しるべ、広報等などに取り組むべきでないか
- (2) 会津若松市奨学資金給与条例及び会津若松市奨学資金給与条例取扱要綱の見直しについて
 - ・ 定例会答弁での所得制限及び大学生までへの資格要件の検討結果を示せ
 - ・ 学習に意欲のある者全員を対象とすべきでないか
 - ・ 旧河東町と合併し、旧町民を対象とした板橋好雄奨学資金貸与条例がある。よって給与制度を無利子の貸与制度に変更すべきでないか
 - ・ 対象者を高校生及び高等専門学校だけでなく、大学・大学院入学者及び研修院生まで拡大すべきでないか
 - ・ 月額奨学金を増額すべきでないか
 - ・ 無利子の貸与制度で所得制限をなくすべきでないか

4 議員 大竹俊哉

(1) ふるさと納税について

① 基本的な考え方と今後の方針

- ・ 会津若松市のこの制度に対する基本的な考え方を示せ
- ・ 今後の取り組みと方針について示せ

(2) 学校支援地域本部事業について

① 事業に対する基本的な考え方

- ・ 現在までの学校支援活動に対する本市の取り組みについて示せ
- ・ 地域ボランティアの利活用状況とその成果について示せ
- ・ 地域ボランティアの活用の際の問題点を示せ。今後のすう勢についてどのように考えているのか
- ・ 本事業に対する考え方について示せ

5 議員 鈴木一弘

(1) 会津若松市環境基本計画について

① 生態系の多様性の確保

- ・ 山、川、里に分けたすみ分けの状況（分布）を示せ。多様性の確保に向けたデータや情報をどの程度持っているのか示せ

② 野生生物種の保存

- ・ どのような生物を中心に考えているのか。国の天然記念物や絶滅危ぐ種、及び希少な野生生物の保護はどうするのか

③ 多様な自然環境の保全回復

- ・ なぜ数が少なくなったのか、その原因を追究し、分かっているのか、それが分からないと回復できないはず、生息環境の分析の研究はしたのか。資料はあるのか
- ・ ウケクチウグイの生息環境について示せ
- ・ 水季の里開発に当たって、当該地に生息していた生物の調査を行ったのか。現況をどうとらえているのか

④ 水質汚濁

- ・ 水質悪化は人間をはじめ、あらゆる生物に影響する。新湯川放水路と古川水系の城西橋地点の汚濁の改善はどのように進めるのか

⑤ 猪苗代湖の水環境

- ・ 水質日本一から圏外になったことについての感想と原因の分析及びそれに対する対策を示せ

⑥ 大川ダム、東山ダムができてからの生態系への影響

- ・ 感想と原因、及びその対策を示せ

⑦ 環境基本計画の有効性向上に向けて

- ・ 犬のふん害のその後の状況について示せ。なぜ減らない

のか

6 議員 小 湊 好 廣

(1) 環境行政について

- ① 地球温暖化対策推進実行計画等の推進
 - ・ 二酸化炭素削減の進ちよく状況と成果・課題は
 - ・ 二酸化炭素削減に対する目標値の設定・見直しは
 - ・ I S O 1 4 0 0 1 の認証取得事業における目標値の達成状況と課題は
 - ・ 事務事業の環境監査の結果は
 - ・ 市民参加の環境監査制度の導入を図るべきでないか
 - ・ 学校版 I S O 事業の進ちよく状況と成果は
 - ・ I S O 1 4 0 0 1 認証取得の事業所への拡大は

(2) 教育行政について

- ① 学校施設の安全
 - ・ 小中学校施設耐震化推進基本方針の課題は何か
 - ・ 日常的な施設の安全確認・点検をどのようにしているか
 - ・ 避難訓練実施の強化を図るべきでないか
 - ・ 学校施設耐震化の財政上の課題は何か
 - ・ 学校施設の安全に対する認識を示せ
- ② インターネットからの犯罪防止
 - ・ 学校裏サイトの実態を把握しているのか
 - ・ 学校裏サイトで行われているいじめから子どもをどう守るか、対策を示せ
- ③ プールでの安全対策・施設の点検
 - ・ プール（学校・市営プール・コミュニティプール）での事故の状況とそれに対する認識を示せ
 - ・ どのような安全対策を講じているのか。いつの時点で点検するのか
 - ・ 水質の点検はどのようにしているのか
- ④ 学校図書の実態の充実
 - ・ 地方交付税措置された図書費は全額措置額どおりに予算措置されているのか。ない場合はその理由を示せ
 - ・ 学校図書の整備充実で子どもに読書の習慣を
 - ・ 司書教諭を各学校に配置できないか。また、市の非常勤職員の配置は考えられないか
- ⑤ （仮称）会津若松学校給食センターの運営
 - ・ 栄養士の適正配置はなされるのか
 - ・ 管理及び職員の体制、施設の整備は十分か
 - ・ 食材・調理の安全対策・検査体制はどのようになっているか
 - ・ 地元産食材の拡大と安定供給の確保は
 - ・ 会津産米の米飯の拡大は

- ・ P T A等の関係団体に対する十分な説明はなされるのか
- (3) インフルエンザ対策について
- ① 新型インフルエンザの対策
- ・ 新型インフルエンザが発生した場合の緊急対応を示せ
 - ・ 拡散拠点になる恐れもある学校での対策は
 - ・ 新型インフルエンザに対する認識を示せ

7 議 員 浅 田 誠

(1) 自転車の利用促進と駐輪場の整備拡充について

① 利用促進に伴う対応策

- ・ ガソリン価格の高騰、健康増進、環境保全等の視点から自転車利用は増加すると予測されるし、行政施策としても促進すべきと考えるが、この点に対する見解とノーカーデーへの取り組みをはじめとしたこれまでの取り組み状況について示せ
- ・ これまでの取り組み状況からの課題とそれに対する解消策についての考えを示せ
- ・ まちなか観光推進のため、観光公社でのレンタサイクル事業をはじめとする利用促進に向けての対応策を示せ
- ・ 通行帯設置等の安全対策についての取り組み状況を示せ
- ・ 国道 118 号の拡幅事業に伴う信号機のない交差点の安全対策について示せ
- ・ 改正道路交通法の施行に伴う対応策についての考えを示せ

② 駐輪場の整備拡充

- ・ 本市管轄の駐輪場の管理・運営とその充足状況について示せ
- ・ 路上駐輪防止、放置自転車対策及び盗難事故防止に対する啓発活動も含めた取り組み状況と今後の対応策について示せ
- ・ 駐輪条例に対するこれまでの検討状況と今後の対応についての考えを示せ
- ・ 駐輪場の整備拡充に対する考えを示せ
- ・ 市民要望への対応状況と借り上げ駐輪場に対する考えを示せ

(2) 認知症高齢者支援対策について

① 現在の取り組み状況

- ・ 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、認知症対応型通所介護（認知症デイサービス）をはじめとする現在の取り組み状況と充足状況についての考えを示せ
- ・ それぞれの課題と今後の対応策についての考えを示せ
- ・ 家族も含めた経済的支援策の取り組み状況について示せ
- ・ 他自治体の取り組みに比しての本市の優位性を示せ

- ・ 市民相談、要望に対する取り組み状況とPR活動状況について示せ
- ・ はいかい者救出策としてのGPS端末機携帯に対する支援策について見解を示せ
- ② 今後の予防策への対応
 - ・ 認知症予防講演会や認知症予防教室をはじめとした具体的な取り組み状況の成果と今後の充実強化策についての考えを示せ
 - ・ 発症の早期発見方法、プログラムの考案について見解を示せ
 - ・ 地域全体での支援の対応策についての考えを示せ

8 議員 土屋 隆

(1) 活字文化の推進について

① 小中学校における朝の読書活動

- ・ 活動の現状を示せ
- ・ 必読書、推薦書の児童・生徒への案内・提示の有無と方法を示せ
- ・ 読書活動のさらなる充実に向けた今後の取り組みを示せ

② 図書館機能の充実に向けて

- ・ (仮称)生涯学習総合センターの図書館機能の蔵書数の規模を示せ。また、貸し出し体制の利便性向上に向けた取り組みを示せ
- ・ 各公民館の図書館機能の蔵書数や利用状況を示せ。また、改善点を示せ
- ・ 公立小中学校の図書室の図書の新規購入・廃棄処分等の増減の状況を示せ。また、地方交付税措置された図書費の金額のうち、実際に図書購入に回されている金額を示せ
- ・ 司書教諭の配置状況を示せ

(2) 平成21年放映のNHK大河ドラマ「天地人」をめぐる神指城整備について

- ・ 本市で計画している整備事業の内容を示せ
- ・ 神指城跡は史跡の指定を受けるべきである。市の見解を示せ
- ・ 神指城跡を専門的研究の題材として位置づけ、中央公民館神指分館内に資料や完成予想の模型などからなる常設の展示室を開設してはどうか

(3) 食育の推進について

- ・ 給食を食育の場としてどのように活用し、推進していくのか
- ・ 関係部局との連携はどのように進めていくのか
- ・ 食についての体系的カリキュラム「食育のテキスト」の作成を急ぐべきでないか

9 議員 齋藤 基雄

(1) アレルギー疾患対策について

① アレルギー疾患を取り巻く現状の認識と対策及び取り組み状況

- ・ アレルギー疾患について、その原因や人口に占める発症割合など、現状に対する認識を示せ
- ・ 化学物質過敏症について、症状や原因、発症割合に対する認識を示せ
- ・ アレルギー疾患に関する調査を行った実績があれば、内容とともに示せ
- ・ 市が行ってきたアレルギー疾患への対策と今後の取り組みを示せ

② 課題と今後の取り組み

- ・ 佐賀市のように市民の関心のじゃっ起と啓発のために、庁舎及び公共施設等において、化学物質による健康被害を少なくするための取り組みを促す行動指針策定を検討すべきではないか、見解を示せ
- ・ 岐阜市のように香料自粛の呼びかけをすることを検討すべきではないか、見解を示せ

(2) 小規模修繕契約希望者登録制度について

① 制度活用の現状と評価

- ・ 制度創設の目的を示せ
- ・ 制度創設からの実績を示せ
- ・ 本制度がより市民に活用されるよう、昨年、契約額上限の引き上げが行われたが、その効果についての分析と評価を示せ

② 有効活用のための課題

- ・ 本制度の活用は数量的に多いとは言えない状況にある。その理由としてどのようなことが考えられるか、制度の有効活用の課題とともに示せ
- ・ 本制度とは別に、市では小額工事請負制度を実施している。修繕と工事はどのように定義づけされているのか、2つの制度との関係で違いを示すとともに、2つの制度を統合してより有効に活用されるよう改善が図られないか、見解を示せ

10 議員 渡部 認

(1) 会津若松市男女共同参画推進プランについて

① 第3次チャレンジ2008の進ちょく状況

- ・ 基本目標の達成状況と成果を示せ
- ・ 意識調査結果に基づく現状把握と課題を示せ
- ・ 計画の推進体制と問題点は何か

- ② 拠点施設整備の考え方
 - ・ 施設整備に対する市長の認識を示せ
- ③ 推進プラン改訂の必要性
 - ・ 第3次男女共同参画推進プラン改訂の方向性を示せ
 - ・ 改訂作業とパブリックコメントの進め方を問う
- (2) 国の「地方の元気再生事業」について
 - ① 本市の認識と具体的な取り組み状況
 - ・ 「地方の元気再生事業」の受け止め方と認識を示せ
 - ・ 国に対する具体的な提案内容とその概要を示せ
- (3) 会津フレッシュリゾート構想について
 - ① 現状と今後の課題
 - ・ 構想承認20年目を迎えて、これまでの総括とこれからの展望を示せ
 - ・ 会津フレッシュリゾート構想推進会議の今までの役割を示せ
 - ・ 今後のあり方をどう考えているのか

11 議員 坂内和彦

- (1) 第2次会津若松市行政システム改革プランについて
 - ① プランの目的と意義
 - ・ 前プランの達成度についての総括を示せ
 - ・ 前プランとの相違点は何か
 - ② 自治基本条例の策定
 - ・ 住民がみずから決定し、実施する仕組みづくりの必要性についての認識を示せ
 - ・ 最小自治の考え方と支所の役割についての考え方を示せ
 - ・ 住民投票制度の考え方を示せ
 - ③ 財政基盤の構築
 - ・ 官民の役割分担の考え方を示せ
 - ・ 総枠配分方式の予算編成への評価を示せ
 - ・ 条例化による財政運営規律の確立を目指すべきではないか
 - ・ 人件費の考え方を示せ
 - ④ 行政評価制度の充実
 - ・ 精度向上の取り組みを示せ
 - ・ 議会チェックの制度化が必要ではないか
 - ・ 事業増加の歯止めの仕組みをつくるべきではないか
 - ⑤ 市民満足度アップの取り組み
 - ・ ワンストップサービス・休日窓口サービスの向上に対する考えを示せ
 - ・ 能力・成果主義の現状と実現性を示せ
 - ・ 専門性の高い職員育成を図るべきではないか
 - ⑥ プランの実行性確保

- ・ プラン推進本部の構成と進ちょく度報告の制度化について認識を示せ

12 議員 長谷川 光 雄

(1) 市長の政治姿勢について

① 市の現状認識

- ・ 過去5年間の企業の倒産件数は
- ・ 過去5年間の商工会議所及び河東・北会津商工会の会員数の推移は
- ・ 過去5年間の第1次・2次・3次産業の生産額は
- ・ 過去5年間の市税に占める法人分の推移は
- ・ 過去5年間の市民1人当たりの分配及び家計所得の推移は
- ・ 本市経済の現状に対する市の認識は

② 「夢と活力ある元気な会津若松市の実現」に向けて

- ・ 魅力ある都市とはどのような認識か
- ・ 市の将来像をどのように描いているのか
- ・ 次世代に残すべきものは

(2) 猪苗代湖及び河川等の水質保全について

① 水質悪化の原因

- ・ 猪苗代湖に流入する河川の本数とその河川の水質検査はどのように行われてきたか。また、その情報開示は
- ・ 観光開発との関連は
- ・ 鳥類などのふん尿との関連は

② 大腸菌群数の増加による影響

- ・ 水道水に対する影響は
- ・ 農業用水に対する影響は

③ 保全への取り組み

- ・ 会津若松市猪苗代湖水環境保全推進計画の中で、保全に向けて具体的施策の展開をどのように実施してきたのか
- ・ 計画の具体的施策の展開に向けて、下流域を含めどのような連携と協議を図ってきたのか
- ・ 「清らかな湖、美しい猪苗代湖の水環境研究協議会」への市のかかわりは

④ 学校教育での環境教育に向けた取り組み

- ・ 市内の小中学校で土壌及び水生生物などの実態調査をしている学校の数、内容、成果を示せ

(3) 扇町土地区画整理事業と財政について

① 扇町土地区画整理事業の財政負担

- ・ 平成20年度末見込みで進ちょく率76.5%、事業実施計画事業費278億2,400万円である。一般財源からの持ち出し額、補助金などの財源内訳を示せ
- ・ 特別会計の今年度の一般会計からの繰入金10億9,189万

5,000 円と持ち出しが多い、市民生活を低下させながらの支出である。どのように認識しているか

- ・ 行政評価と住民との意識の差にズレがないか
- ・ 保留地の処分が進まない理由は何か
- ・ 保留地を処分すれば市価換算でどのくらいになるのか

② 今後の方向性

- ・ 平成25年度の事業完成を目指していると報告されているが、必要最小限度に縮小する考えはないか

(4) 農業振興について

① 水田農業構造改革対策の現状

- ・ 地域水田農業活性化緊急対策の加入が県で 5.6 %、会津若松市が 8.76 % である。地区ごとの内訳は
- ・ 転作の実施状況を地区ごとに示せ
- ・ 達成に協力しない理由は
- ・ 達成に向けて市はどのようにかかわり、どのような努力をしてきたのか

② 食料自給率の向上に向けた取り組みの強化に向けて

- ・ 食料自給率の現状と自給率向上に向けた取り組みを示せ

③ 安心・安全な農産物の振興に向けて

- ・ 水稻でエコ米・特別栽培米の作付け面積と取り組みの認識について示せ
- ・ 有機・エコなどで認証の取得者はどのくらいか
- ・ 有機農業の推進に関する法律が 2006 年 12 月 15 日に施行されたが、推進に当たって問題と課題は何か
- ・ 有機農業の推進に向けて施策の展開を検討しているか

④ 地産地消の推進状況とその反応

- ・ 地産地消の推進状況とその反応は

⑤ 穀物、原油、資材等が高騰する中でのさらなる支援策

- ・ 穀物、原油、資材等に対する支援策を示せ

13 議員 目黒 章三郎

(1) 定員管理計画と市民満足度について

① 職員数を削減しながら、市民満足度向上をどのように図るのか

- ・ 平成22年4月の目標職員数は 1,027 名となっているが、業務量等を精査して算出したのか、根拠を示せ。また、その水準は適正と評価しているのか
- ・ 職員の長期病気休暇のうち、精神科系で休んでいる人の原因が仕事の過剰さとの因果関係はないのか
- ・ ムダ、ムラ、ムリを省くような業務改善の実例を示せ
- ・ 地域づくりの拠点たる公民館活動の活性化と経費の削減という点で、その運営に当たり退職した校長や教員などの人材を活用したらどうか

- ・ 指定管理者制度導入後、会津水泳場の利用者へのサービス向上はあったのか。供用日、供用時間、また飲み物の自動販売機の設置について具体的に示せ
 - ・ 市長は「住民サービスの向上」という言葉の定義を明らかにせよ。また、同じように「市民満足度」「おもてなしの心」の定義づけも明らかにせよ
 - ・ 市長は市民満足度を上げるための業務改善を具体的に推進するために、どのような手立てをしているのか
 - ・ 最も簡単ですぐにでもできる住民サービスとして市長車はじめ高級公用車の駐車位置を中庭に移し、正面玄関前はすべて来庁する市民向けの駐車場にしたらと思うがどうか
- (2) 神指城跡の保存、活用について
- ① 神指城跡の文化財的価値、観光スポットとしての活用の考え
- ・ 神指城跡の文化財的価値について、どのような認識をしているのか
 - ・ 文化庁に文化財調査を要望する考えはあるのか
 - ・ 来年のNHK大河ドラマ「天地人」で一躍脚光を浴びることになった神指城だが、観光スポットとして案内板、解説板、駐車場など、どのように整備していく考えか
 - ・ 都市計画道路西部幹線が高瀬の大ケヤキのある北東土塁、本丸、そして南東土塁を分断する形で計画されているが、このルートの見直しを県に要望する考えはないのか
 - ・ 阿賀川に架かる新橋りょう建設予定の路線は、本丸と北西土塁、北東土塁を分断する計画となるが、この見直しを県に要望する考えはないか

14 議員 樋川 誠

(1) 後期高齢者医療制度について

- ① 医療制度の特徴
- ・ 市としての施行前から現在までの取り組みと状況を示せ
 - ・ 高齢者は加齢による身体状況の変化等があり、若人世代と異なる医療環境にある。その特性に合わせた医療保険制度なのか、評価を示せ
- ② 市民が安心できる医療制度
- ・ 国民皆保険制度を将来にわたって安定的で持続可能にする上で、市民の健康と福祉を向上させる立場からこの制度は安心できる制度なのか。逆に問題があるとするならば、どこに問題があるのか、認識を示せ
- ③ 保険料の比較と減免
- ・ 本市の対象者の保険料が老人保健医療制度の保険料と比較して安くなる人やそうでない人が存在することへの見解を示せ

- ④ 診療報酬に対する見解
 - ・ 老人保健医療制度と違う高齢者にふさわしい新たな診療報酬の見直しが行われたが、それに対する評価を示せ
- ⑤ 市としての奨励制度
 - ・ 健康高齢者に奨励金を出す制度を再び行うべきと思うがどうか、見解を示せ
- (2) 環境行政について
 - ① 携帯電話リサイクルの推進
 - ・ レアメタル（金・コバルトの希少金属）資源回収の推進から携帯電話を「捨ててはいけない物」として、市で発行するごみ分別案内すべてに記載することはどうか。また、廃棄する場合は購入したショップで処理することも促すことはどうか、見解を示せ
 - ② 未来の地球環境づくり、7月7日をクールアース・デーと宣言
 - ・ 市民参加型の地球温暖化防止策として、7月7日（クールアース・デーと呼称）の夜、市内の家庭、職場、庁内などで一斉にライトダウンを行い、みんなで地球環境を考え行動する日としてはどうか、見解を示せ

15 議員 戸川 稔 朗

- (1) 市長の政治姿勢について
 - ① 市長が兼務している各種団体・外郭団体のトップの職の整理と市長職専念
 - ・ 市長がトップとして兼務している各種団体、外郭団体、第三セクター等の数と兼務に対する認識
 - ・ 会津地方17市町村の長兄として充て職のものはあるのか
 - ・ 現在、指定管理者となっている2団体のトップに市長が就いているが、政治倫理上の問題を感じないか
 - ・ 財政問題等の課題が山積しており、市長職に専念すべきでないか
- (2) スポーツ施設の有効活用と設備について
 - ① 武徳殿の修理・修繕
 - ・ 武徳殿火災発生後の修理状況を示せ
 - ・ 利用団体からの要望に対する対応は
 - ・ 今後の修理・修繕見通しを示せ
 - ② 旧会津学鳳高校体育館の利活用
 - ・ 昨年12月定例会答弁後の事務対応は
 - ・ 利活用できない原因・問題点を示せ
 - ・ 利用可能時期と利用制限を示せ
 - ・ 各競技団体からの要望をどのように受け止めているのか
 - ③ あいづ球場の整備計画
 - ・ 今後のあいづ球場の整備計画は

- ・ 内野スタンドに屋根は設置できないか
- ・ 車いす観戦者に対する対応は

16 議員 渡部 優生

(1) 入札制度改革への取り組みについて

- ① 落札率の経過
 - ・ 一般競争入札制度導入後の過去3カ年の平均落札率の経過はどうか。どう評価しているか
- ② 低入札価格の経過
 - ・ 低入札価格の調査件数、調査の割合の経過はどうか。どう評価しているか
- ③ 本年2月定例会以後の入札制度改革の検討結果
 - ・ 低入札価格落札増加への対応を示せ
 - ・ 総合評価制度導入の考えを示せ
 - ・ 電子入札導入の考えを示せ

(2) 会津リエゾンオフィスの解散と産学官連携の方向性について

- ① 会津リエゾンオフィスの設立目的
 - ・ 会津リエゾンオフィスの設立目的と出資金など、これまでの市のかかわりを示せ
- ② 会津リエゾンオフィスの活動内容と評価
 - ・ 会津リエゾンオフィスのこれまでの活動内容を市としては、どのように評価しているのか
- ③ 会津リエゾンオフィスの解散
 - ・ 会津リエゾンオフィスの解散を市としてどのようにとらえているのか
- ④ 本市における産学官連携のあり方
 - ・ 会津リエゾンオフィスの解散に伴い、今後の本市における産学官連携のあり方について、どのように考えているのか

17 議員 松崎 新

(1) 多重債務者等の消費者支援の充実について

- ① 本市消費者支援のあり方
 - ・ 本市消費者支援の総括を示せ
 - ・ 平成19年度の消費生活相談件数の上位3つは、訪問販売、通信販売、金銭債務である。その主な原因と支援策を示せ
- ② 多重債務者支援のあり方
 - ・ 前回の答弁では、相談内容に応じて庁舎内関係各課と連携を密に相談支援を行うとの答弁であった。その後の多重債務者支援の主な現状と対応について徴収担当課、福祉担当課ごとに示せ
 - ・ 消費生活相談室などへ相談に来ない、どこに相談してよいかわからない市民への対応策について示せ

- ・ 国の多重債務者納付相談モデル事業と6自治体が先進的に行っている多重債務者対策・生活再建支援を本市でも早急に行うべきである。市の考え方を示せ
- ③ 相談支援体制の仕組みづくり
 - ・ 消費生活相談室を支援相談員と複数の市職員が常駐する機関として機能強化を図り、その上で消費生活相談室と庁内の徴収担当課、福祉担当課を横断的につなぐ体制づくりを行うことにより、総合的な対策を図るべきである。考え方を示せ
 - ・ 行政と弁護士、認定司法書士などの支援体制のさらなる強化と消費者救済資金貸付制度などの設置も必要と考えるが、市の考えを示せ
- (2) 循環型社会の構築とごみ処理広域化について
 - ① ごみ処理広域化
 - ・ ごみ処理広域化会津ブロック検討会が合意に至らなかったことで本市の廃棄物行政に影響を及ぼさないか示せ
 - ・ 目標の平成28年度に事業を行うために市としてどのように取り組みを進めるのか示せ
 - ② ごみ処理経費と新たな建設費用
 - ・ 本市は財政健全化途上にある。建設費用や維持管理経費を本市は負担できるのか。また、そのための財源確保についての考えを示せ
- (3) 水道事業経営について
 - ① 本市水道事業のあり方
 - ・ 水道の将来ビジョンについての公営原則を確立して、事業基盤をつくることを優先すべきと考えるが市の見解を示せ。また、公共の福祉と経済合理性の合理的調和の観点からは「水道事業の今後は民間委託ありき」でないと考えるが、市の考え方を示せ
 - ・ 「第三者委託制度」及び「指定管理者制度」を選択し成功しつつある事業を示しているが、他市では民間委託導入後事故の発生などの問題があるようだが、このような制度を市はどのように評価しているか示せ
 - ・ 水道事業については直営と民間の適切な組み合わせが必要と考えるが、水道事業の経営主体のあり方をどのように考えているか示せ
 - ② 経営改善策
 - ・ 大規模施設整備事業は、平成18年度から27年度までを計画期間とし、事業費は約126億円から146億円と計上している。それにもかかわらずなぜ今改めて、財源確保が強調されるのか、当局の責任について示せ
 - ・ 施設整備の財源確保について事業見直しによる業務委託推進方策で検討するとしているが、1年間でどのくらいの

財源が生み出されると推計しているか示せ。また、それだけで施設整備の財源が確保されるか示せ

- ・ 経営改善策を進めるに当たっては、中期計画、財政計画をつくり広く市民、利用者に周知し、市民、利用者参加のもと水道事業のあり方を判断すべきと考えるが、見解を示せ

18 議員 横山 淳

(1) 学校給食における食物アレルギー対応について

- ① 本市児童・生徒の食物アレルギーの実態
 - ・ 食物アレルギーをもつ児童・生徒数の推移と認識を示せ
 - ・ 食物アレルギーの原因となる食品（アレルゲン）品目と推移を示せ
- ② 対応と現状
 - ・ 各学校において就学前指導、症状把握、計画書作成、各種書類様式など、方針を決定するまでの流れを示せ
 - ・ 食物アレルギー対応の基準を示せ
 - ・ 除去食、代替食、特別食、持参食の基準を示せ
 - ・ 直営方式と委託方式、また自校方式とセンター方式でアレルギー対応食に違いはあるか示せ
 - ・ アレルギー対応食提供後の情報共有・指導の方法を示せ
 - ・ 栄養士の研修・会議等でアレルギー対応食の情報交換・共有はされているのか示せ。また、栄養士が配置されていない学校での対応を示せ
 - ・ 教育委員会として食物アレルギー対応の基本的な考えを示せ
- ③ 今後の取り組み
 - ・ 新しくできる給食センターのアレルギー対応食の方針を示せ
 - ・ 委託業者への指導方針を示せ
 - ・ 本市の基本指針策定の考えを示せ

19 議員 石村 善一

(1) 神指城跡の保存と幹線道路整備について

- ① 神指城跡保存の考え方
 - ・ 歴史的価値と文化財としての認識、保存の考え方を示せ
 - ・ いまだ文化財指定に至らない理由と経過を示せ
 - ・ 遺跡包蔵地登録の経緯と登録による制約を示せ
 - ・ 保存方針の最終決定には十分な議論が必要でないか
- ② 幹線道路整備に対する認識
 - ・ 神指城跡保全の観点も含め、西部幹線及び新橋りょう整備事業に対する市の認識を示せ
 - ・ 2路線整備計画内容を踏まえ、文化財保全に向けた関係

機関との協議が必要と思うが、経過及び内容を示せ

- ・ 城跡保全の観点から、2路線のルート見直しを県に要望すべきと思うがどうか

(2) 扇町土地地区画整理事業地内の公園整備について

① 公園整備計画

- ・ 事業進展による公園整備の必要性をどのように認識しているのか
- ・ 公園整備状況と今後のスケジュールを示せ
- ・ 公園管理者への引継ぎ、供用はどのようになるのか
- ・ 公共施設管理者負担金の内容を示せ

② 地域住民の早期利用

- ・ 地域住民からの公園用地の早期利用に係る要望をどのようにとらえ、どのようにこたえていくのか
- ・ 子供の遊び場の確保の観点からフェンス等の安全策を講じて、公園用地を住民に早期に開放すべきでないか

20 議員 荒井義隆

(1) 武士^{ものふ}の郷^{さと}における武道について

① 武士の郷の具現化

- ・ 教育・観光・県内外からの評価を示せ
- ・ 今後取り組むべき課題と問題は何か
- ・ 武士の郷として武道文化ゾーンを構想すべきではないか

② 武士の郷における武道の振興に対する認識

- ・ 市長はなぎなた競技を見たことがあるか、その感想は
- ・ なぎなたの練習場確保に苦勞している関係者の期待にこたえるべきでないか
- ・ 市長並びに教育長は、会津における相撲にどのような認識を持っているか（施設、普及への必要性、今後の対応）
- ・ 県営武道館誘致をどのように進めているか、その見通しを示せ

21 議員 佐野和枝

(1) 市営住宅について

① 市営住宅入居待ちの現状

- ・ 市営住宅の入居募集に対する応募の平均倍率は約 8.3 倍という状況であり、入居できない世帯が多い。これに対する市の認識と対応について示せ
- ・ 低所得者世帯が、市営住宅の抽選に外れ、民間住宅の家賃の支払いに苦慮している現状がある。市民が住宅に困窮している現状の認識を示せ

② 低所得者への住宅支援

- ・ 民間の空き住宅を市が賃貸し、低所得者に対し、措置を

講じる必要があると考えるがどうか

- ・ 低所得者に対する入居条件の緩和措置も必要であると考え
えるがどうか

22 議員 小林 作 一

(1) 税財源の確保について

① 法定外税

- ・ 地方自治体は勝手に税を課することができないことになっ
ているが、国の同意があれば可能である。市として独自の
課税対象を検討したことがあれば示せ

② 課税自主権

- ・ 地方自治体が独自の課税（税率）を行うことができるも
のもある。市は行財政再建プログラムの実施という非常事
態に当たっても税率を変えなかった。税率を固守する理由
は何か
- ・ 自治体ごとに政策があり、その政策に対応して市民の負
担が決まるものだと言われるが、変動税率のほうが税金と
政策の結びつきをわかりやすくすると思うがどうか

③ 法定内目的税（仮称）

- ・ 市民の要望にこたえきれない現状の財政運営では負債軽
減は困難と思う。固定資産税や住民税の税率を少し上げ、
負債返済の目的税にしてはどうか

④ 消費税に対する市長の考え方

- ・ 消費税の引き上げは、本市の財政にも大きな影響を及ぼ
す。市長の消費税に対する見解を示せ
- ・ 地方消費税だけの引き上げや枠拡大による財源確保につ
いて見解を示せ

23 議員 清 川 雅 史

(1) 幼児教育振興プログラムについて

① 幼児教育振興プログラムの基本的な考え方

- ・ 策定の目的を示せ
- ・ 策定の体制について示せ
- ・ 策定の内容、項目を示せ
- ・ 現在の進ちよく状況を含め策定のスケジュールを示せ

② 幼児教育振興プログラムの位置づけ

- ・ 策定されたプログラムは、どのように市政に反映してい
くのか示せ
- ・ 他の幼児を対象とした市の施策との関係について示せ

(2) 第2次会津若松市行政システム改革プランについて

① プランの目的と目標

- ・ 目的と目標について示せ

② 実施計画の策定

- ・ 実施計画策定の予定について示せ
 - ・ 実施計画策定における方向性について示せ
- ③ 市民と行政との協働のための指針の必要性
- ・ 市民との協働を推進するため、具体的な指針が必要だと思いが協働参画の基本的な考え方、形態、方法を示す必要性についての見解を示せ